



# 建交労

2022年春闘・月間推進ニュース

## 全国トラック部会が4・1統一行動

### 50人が多彩な宣伝物で建交労の魅力を訴える



神奈川県南支部

神奈川県南支部では、神奈川県トラック協会の協力も得て、トラックステーションでビラ・マスクを含め、ボックスティッシュ・ウェットティッシュ・クリアファイルなど多彩な宣伝物を配布しました。7人の参加で約30人のドライバーと対話をおこない、新型コロナウイルスの影響などのアンケートを集約しました。また、トラックステーションの詰所には部会ビラ付ポケットティッシュ60個を設置しました。

4月1日に全国トラック部会による統一行動が、各地でとりくまれました。

全国各地8ヶ所で、のべ50人以上が参加し、新型コロナウイルスの影響に対するアンケート集約を中心に、春闘勝利と組織拡大にむけた宣伝行動等を実施しました。コロナアンケートは別におこなった福岡トラック部会を含め、約200人分を集約しました。



埼玉トラック部会



兵庫トラック部会・関西合同支部

埼玉トラック部会では、5人で駅頭と流通団地で宣伝行動を実施。部会マスクティッシュを100部配布し、チラシを集合団地に約1,600部ポスティングしました。

兵庫トラック部会は関西合同支部と合同で、第二神



静岡トラック部会

明明石SA上下線で、トラック部会ビラとマスクを配布しました。参加は9名でコロナアンケートを32筆集約しました。

静岡トラック部会は宣伝カーを使用して、静岡市内をめぐりました。道の駅では、トラックドライバーと労働実態について対話し、建交労の魅力を伝える行動にとりくみました。

東京トラック部会では、8人の参加で2カ所の駅頭で宣伝行動を実施しました。各駅頭では部会ビラとノベルティグッズを合計800セット配布するとともに、部会幹事が順番にトラックの現状と平和の願

いを訴えました。

愛知トラック部会ではコンテナターミナルや藤前トラックステーションなど3カ所で、ビラティッシュ・ウェットティッシュの配布を5人で実施しました。コロナアンケートは12筆集約しました。



東京トラック部会



愛知トラック部会

大阪トラック部会では、2台の宣伝カーで大阪北部と南部を流し宣伝し、その後の阪神高速泉大津PAや北大阪TT、吹田PAでの宣伝行動を実施しました。全体では5人の参加でコロナアンケート24筆集約し、部会ビラを各100部

配布しました。

新潟トラック部会では県本部とともに、新潟東港海上コンテナヤード付近で昼休み中のドライバー13名に声をかけ、全国トラック部会ビラとマスクをクリアファイルに挟み配布しました。声をかけた13名のドライバー全員が、2024年問題や行動当日から対策を取らなければならないハラスメント対策について、知っている人はいませんでした。



新潟トラック部会